

Navi

- ① 人の生と死に向き合い、親身に寄り添う — 助産師の仕事 —
- ② あらゆる分野・事象に興味をもつ — 記者の仕事 —

Vol.
187

2023.1

① 人の生と死に向き合い、親身に寄り添う

— 助産師の仕事 —

高校生保護者(助産師)

みなさんがイメージする助産師は、出産のお手伝いをする女性だと思いますが、それ以外にも授乳指導や子育ての指導、母親教室や性教育などの各種教室の運営も行っています。そのほかに、外来の妊婦さんの健診や妊娠中の健康指導などが主な仕事になります。

このように、妊娠期や出産後の健康指導、乳房ケア、新生児のケアなど、妊娠から出産、育児に至るまで、母子の健康をあらゆる面で支えるのが助産師です。私自身、子どもを4人出産し、育てていますので、その実体験からくる知識や経験談も交えながらサポートしています。

また、正常分娩が異常分娩にならないようサポートすることや、帝王切開などのオペの介助など、かなりオールマイティーに動ける知識と技術が求められます。ベストな方法で母子の健康を守るため、常に知識や技術を向上できるように心がけなければなりません。

また、出産のサポートだけでなく、正常分娩であれば医師の指示を受けることなく、自身の判断による分娩介助を許された専門職です。看護師資格にも保健師資格にもない助産師資格の大きな特徴は、助産院の開業権が認められていることです。そのため、病院などに勤めながら、将来的に助産院の開業をめざす人もいます。

しかし、助産院を開業される助産師は少なく、助産師の多くは病院やクリニックで勤務しています。そのほかに保健センターで訪問の乳児健診や授乳指導をメインで行っている方など、働き方はさまざまです。

私は現在、個人病院のクリニックで働いています。主に外来の妊婦健診を担当していますが、週に何回かは乳児健診も行っています。人手が足りないときなどは分娩の介助も行います。

1日の業務内容ですが、外来チームの場合は、その日の予約で入っている妊婦健診の方に、助産師指導という形で健診の後に食事指導や運動指導など、その方にあった指導やアドバイスをします。また、乳児健診を担当する場合は、2週間、1ヶ月、3ヶ月の赤ちゃんを計測をさせていただいて、授乳がうまくいっているか、お母さんの悩みごと、例えば家族関係がうまくいっているかなどを伺って指導させていただく、というのが仕事内容になります。ただ、産婦や妊婦、胎児の体調に異変があった場合は、それを最優先に対応しますので、すべて変わります。

私が助産師になりたいと思った最初のきっかけは母です。母が看護師だったので、私も当初は看護師を目指し、高校の衛生看護科に入学しました。そのときの実習で助産師さんと

一緒に初めてお産に立ち会わせていただき、助産師さんが妊婦さんにかかる言葉など、妊婦さんに本当に寄り添っている感じに感銘を受け、「自分がやりたいことは、人に寄り添うことなんじゃないか」と思って助産師を目指そうと思いました。新たな命の誕生に立ち会い、サポートできるのは、助産師ならではの。生まれた赤ちゃんが元気な声で泣いてくれた瞬間は、何度体験しても感動します。そういった部分ではいいイメージがあると思います。

ただ、助産師が立ち会うのは「幸せな出産」ばかりではありません。流産やどれだけ手を尽くしても死産という結果が避けられないこともあります。望まれない結果になった場合、助産師として妊婦さんをどうケアするかがかなり重要になってきます。それと同時に自分自身のメンタルも整えなければなりません。いくら助産師としての経験があっても不幸な結果のお産になると、自身の精神面にもかなり影響します。それでも気持ち切り替えて次のケアに当たらなければなりません。

助産師に必要なものは、お産に関する知識や技術だけではありません。それらはもちろんですが、不安定になりがちな妊娠・出産期の女性の心に、思いやりを持って寄り添えるかがかなり重要な要素になります。また、夜間のお産や長引くお産にも対応できる体力・精神力も必要です。

助産師は、体力的にも精神的にもきつい仕事ですが、人生に数回しかない出産という貴重な時をより良いものにするサポートをさせていただけることにやりがいを感じます。たくさんの困難をのりこえ母と子が笑顔で社会に戻っていく姿を見られた時は、心にぐっとこみ上げるものがあります。そんな時、助産師になれて本当に良かったと思います。赤ちゃんの元気な産声を聞いた時、生命の力強さを感じ、特別な仕事をさせていただいていると感じられます。

今後は自分自身が培ってきたものを、後輩の助産師や助産師を目指す若い人たちに「活きた知識」を伝えていけるようにと考えています。

妊娠・出産・育児をする方はみなさん不安でいっぱいです。家族など周りのサポートがない場合、一人で悩みを抱え込み、精神的にも肉体的にもいっぱいになって虐待が起こってしまう場合があります。助産師としていま一番望むことは、虐待を起させないために、家族のサポートがなくても社会でサポートし、母子を孤立させない社会、すべての命を大切に育む社会になってほしいと思います。

人の生と死に向き合い、親身になって寄り添う助産師という職業に少しでも興味をもっていただけたら幸いです。

② あらゆる分野・事象に興味をもつ

— 記者の仕事 —

高校生保護者(記者)

みなさんはスポーツ新聞を手にとったことがあるでしょうか？関西で発行されるスポーツ紙は阪神タイガースを中心に掲載されているので熱狂な虎党のご家族がいれば何度か目にしたことがあると思います。一般紙(朝日新聞など)と比べてスポーツ紙は大胆で独特な作りです。1面はカラフルで超ド派手な見出し、写真は紙面の大半を占め大きく扱われています。

原稿を執筆する取材記者、写真を撮る写真記者、そして紙面の色遣いや見出し、レイアウトを担当する整理記者が紙面を構成しています。ページをめくると関西のスポーツ紙はプロ野球→一般スポーツ(サッカーや相撲、ゴルフなど)→競馬→公営ギャンブル→文化・芸能の並びがほとんどですが、その日の目玉となるトピックが前面に掲載される傾向にあります。春や秋から年末にかけての競馬のGIでは各紙推しの馬を並べて、週末は紙面を彩ります。スポーツ紙はジャーナリズムの側面を持ちながらも大衆に寄り添い、むしろ娯楽紙といった装いです。

スポーツから芸能や社会の各分野には部署があり、例えば相撲担当やゴルフ担当など、最前線で取材し読者に旬の話題を提供しています。取材記者や写真記者の醍醐味は間近で感動の一瞬に立ち会えることでしょう。運が良ければ五輪取材でまさに日本選手の活躍を目の当たりにしたり、サッカーのワールドカップでは一流のプレーに驚嘆することもできます。阪神タイガースの番記者なら今をときめく佐藤輝選手のインタビューも可能でしょう。取材記者が外勤であるなら、内勤の整理記者は自分で考えた見出しで読者の興味を引き、ニュースの価値判断を自分で咀嚼しながら、大きな紙面というキャンバスで自由にレイアウトした新聞を届けています。特に1面など注目度の高い紙面でひねり出した見出しが紙面に躍る時はかけがえのない喜びを味わえます。

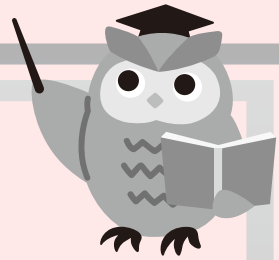
新聞は毎日発行されます。記者は担当している分野で「特オチ」、いわゆる全紙載せているニュースを自社だけ落とす不安と毎日闘っているといっても過言ではありません。朝早くに会社からの電話で叩き起こされるドラマシーン何かも現実起こりうることです。また、新聞には日々、過酷な締め切り時間が設定されています。遠方に届ける新聞であればあるほど締め切り時間が早くなるのは当然のことです。プロ野球のナイターなどで延長戦の長時間ゲームなどは紙面に入らないというのがまさに新聞の泣きどころです。その辺も鑑み、各社ともネット系のデジタル分野にも最近は力を入れ始めています。検索

エンジンのYAHOO!のTOPニュースを閲覧したことがあると思います。載れば圧倒的に自社のホームページにアクセスするPV(ページビュー)が稼げます。速報やスクープ記事だと反響が大きく、多ければ1000万を超えるPVを記録し、多大な広告収入を得ることができます。けれども、ネットで気軽に手早くそれも無料で情報を配信することは逆に新聞自体の首を絞めていることになるかもしれません。が、現状では相乗効果を狙って積極的に発信しています。

我々の高校時代は情報を得る手段は新聞や書籍、テレビが主でした。90年代後半、携帯電話が登場し情報は簡単にまた、無料で手に入る時代となりました。スマートフォン全盛の現在、一層その傾向に拍車がかかり、まさに紙媒体は厳しい時代と言われています。デジタルの押し寄せる波はいずれ、紙をなくすこともあるかもしれません。ただ、情報を発信する職業については人が欲する限り、必要とする限り無くならないでしょう。形を変えながらも読者に情報を発信し続けることになります。では、どういった人が記者に向いているのでしょうか。

私自身、野球はもちろんのこと、芸能や社会いずれも様々な分野に興味を持つことを念頭においていました。常にあらゆる分野にアンテナを張り巡らせて何が読者に興味を抱かせるかを考えています。世の中のあらゆる事象に興味がある、そんな貪欲な人はスポーツ紙向きかもしれません。高校、大学生活を通して様々な経験を通し、夢へ邁進してください。応援しています。





職業を調べよう!

仕事を選びに迷ったらまずはこのサイトを見てみよう。

職業情報提供サイト(日本版O-NET)(愛称: job tag(じょぶたぐ))

<https://shigoto.mhlw.go.jp/User>



職業情報提供サイト(日本版O-NET)(愛称: job tag(じょぶたぐ))は、「ジョブ」(職業、仕事)、「タスク」(仕事の内容を細かく分解したもの、作業)、「スキル」(仕事をするのに必要な技術・技能)等の観点から職業情報を「見える化」し、求職者等の就職活動や企業の採用活動等を支援するWebサイトです。

まだ就業経験のない方や再就職先を探している方が、どんな職業があるのかいろいろな切り口から探したり、その職業ではどんな仕事内容・作業が一般的に行われ、どんなスキルや知識を持った方が働いているのか調べたりすることができます。


皆様のご職業・仕事内容を紹介して下さい!!!

執筆して頂ける方がいましたら、以下にご一報を下さい。

お問合せ

〒586-8585

河内長野市末広町623 清教学園中高等学校内グリーンルーム(PTA室)

TEL・FAX 0721-62-4406  pta@seikyo.ed.jp



清教生徒のきみたちへ
—さまざまな職業との出会いを—
発行: 清教学園PTA